

研修 評価

研修名	認知症対応力向上研修				
領 域	診療報酬に関連した研修	会場	新潟テルサ	受講料	会 員：無料 非会員：無料
対 象	学習段階レベル 新潟県・新潟市認知症地域医療支援事業（受託事業） 募集数(80人)応募数(123人)参加数(79人)会員数(71人)非会員数(8人)				
日 時	令和6年8月19日（月曜日）8月29日（木曜日）9月2日（月曜日）（最終日は台風対応のためオンラインに変更）				
ねらい（目標）	認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、医療機関に入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、同じ医療機関の看護職員に対し伝達をすることで、医療機関での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を目的とする。				
講 師	田中 晋 三島病院認知症疾患医療センター（日本認知症学会専門医） 竹内 真奈美 厚生連上越総合病院（老人看護専門看護師） 栗和田 直樹 厚生連長岡中央病院（認知症看護認定看護師） 小林 真由美 県立坂町病院（認知症看護認定看護師） 古川 望 新潟南病院（認知症看護認定看護師） 鈴木 香織 信楽園病院（看護副部長）				
内容・方法	○講義内容 ・基礎知識編 ・対応力向上編 ・マネジメント編 ○研修方法 ・講義と演習				
結 果	評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度（できた、ほぼできた）80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標（知識技術）の習得度（できた、ほぼできた）80%以上 ○参加者数 79名 99% 【達成】・未達成 ○アンケート結果（回収率70%） ・理解度 97% 【達成】・未達成 (100%～92.7%：マネジメント編の理解度がやや低かった) ・自己課題の達成度 94.5% 【達成】・未達成 ○受講者の意見 ・内容はとても充実していて、勉強になった。 ・内容に対して時間が短く、研修時間を延ばせないのであれば、テキストを事前配布するなどもう少し自分の中にかみ砕いて落とし込む時間が欲しかった。				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した】・達成しなかった ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など：ねらいと整合性があったとの回答が100%であり、プログラムは妥当であったと判断。今後も継続が望まれる研修である。 ○総括 ・1日目の机の配置（グループワーク形式）が見つらかったとの意見が複数あり。講義中心の1日目はグループ形式をとらない方がよい。 ・内容が盛りだくさんのため、事前資料配布による事前学習などの工夫が必要。 ・グループワークはZoomより対面がよい。（今回は不測の事態による）				
課 題	・時間を延ばすかまたは講義の内容を絞り込む必要がある。				
担当者	教育委員				